福祉情報学部カリキュラムマップ

2022年度入学生【社会福祉専攻】

養成する力	細目	1年	2年	3年	4年	対応するディプロマ・ポリシー		
1: 社会資源を開発する力	1-1: 社会福祉資源に関する知識	社会学	社会福祉の原理と政策 I 社会福祉の原理と政策 II 社会保障 I 社会保障 II 公衆衛生学	地域福祉と包括的支援体制 I 権利擁護を支える法制度 貧困に対する支援 刑事司法と福祉	保健医療と福祉	DP1: 【知識及び技能】 DP2: 【思考力・判断力・表現力等】 DP4: 【地域貢献】		
	1-2: 社会資源開発にあたる構想力	福祉情報論 I	ソーシャルワーク実習指導 I	ソーシャルワーク実習指導 II 福祉サービスの組織と経営	ソーシャルワーク演習 IV 社会福祉調査の基礎			
2: 制度横断的に課題に対応できる力	2-1: ソーシャルワークの知識		ソーシャルワークの基盤と専門職 I ソーシャルワークの基盤と専門職 II ソーシャルワークの理論と方法 I	ソーシャルワークの理論と方法 II ソーシャルワークの理論と方法 III	ソーシャルワークの理論と方法 IV	DP1: 【知識及び技能】 DP2: 【思考力・判断力・表現力等】		
	2-2: 福祉問題解決に必要な実践的行動力	福祉情報論 II	福祉統計学	ソーシャルワーク演習 II ソーシャルワーク演習 III ソーシャルワーク実習 I	ケアマネジメント ソーシャルワーク実習 II	専門ゼミ I 専門ゼミ II		
3: 地域と関係を構築する力	3-1: コミュニケーション能力	教養ゼミ	地域ゼミ I 地域ゼミ II ソーシャルワーク演習 I	地域福祉と包括的支援体制 II		DP1: 【知識及び技能】 DP4: 【地域貢献】		
4: 他の専門職と協働する力	4-1: 多職種の役割に関する知識		多職種協働論			DP2: 【思考力・判断力・表現力等】 DP3: 【主体性・多様性・協調性】 DP4: 【地域貢献】		
	4-2: 多職種協働を構築できる力		福祉職協働演習	多職種協働演習				
5: 援助に必要な知識・技術・倫理の研鑽	5-1: ソーシャルワーカーとして成長する力	福祉入門 介護入門	社会福祉士特別セミナー I	社会福祉士特別セミナー II 社会福祉士特別セミナー III	社会福祉士特別セミナー IV 社会福祉士特別セミナー V	DP3: 【主体性・多様性・協調性】 DP4: 【地域貢献】		
6: 幅広い援助対象の支援ニーズに対応する力	6-1: 援助対象のニーズを明確化する力	心理学	高齢者福祉 I 高齢者福祉 II 障害者福祉 I 障害者福祉 II 児童・家庭福祉 人体の構造と機能及び疾病 I 人体の構造と機能及び疾病 II 認知症の理解 I 認知症の理解 II			DP1: 【知識及び技能】		
社会福祉専攻のディプロマ・ポリシー		DP1: 【知識及び技能】 ソーシャルワークの機能を発揮し、制度横断的な課題に対応することができる。 DP2: 【思考力・判断力・表現力等】 援助対象が有する課題解決にむけ、必要な社会資源を開発することができる。 DP3: 【主体性・多様性・協調性】 生活課題解決に向け、ソーシャルワークの価値・倫理観をもって、地域の多様な人々や専門職と協働することができる。 DP4: 【地域貢献】 グローバルな視野をもって地域を見つめ、地域の持続的な発展に貢献しようとする高い意欲がある。						
		——— 直接的な関連性	- - - - - 間接的な関連性	■ 必修科目	■ 総合科目 (選択科目)	■ 社会福祉専攻 (選択科目)	■ 社会福祉・介護福祉共通 (選択科目)	■ 関連系 (選択科目)

2022年度入学生【介護福祉専攻】

養成する力	細目	1年	2年	3年	4年	対応するディプロマ・ポリシー
1: 高い倫理性を保持し潜在能力を引き出す介護を実践する力	1-1: 生活支援に関する知識と技能	福祉入門 介護入門 社会学 心理学	生活支援技術 I 生活支援技術 II 生活支援技術 III 生活支援技術 IV	生活支援技術 III 生活支援技術 IV	介護福祉士特別セミナー	DP1: 【知識及び技能】 DP2: 【思考力・判断力・表現力等】
	1-2: 能力を引き出す介護の実践力		介護福祉実習 I			
2: 的確な介護記録を作成する力	2-1: 思考力・判断力		介護総合演習 I 介護総合演習 II	介護総合演習 III ケアマネジメント	介護総合演習 IV	DP2: 【思考力・判断力・表現力等】
	2-2: 表現力	福祉情報論 I 福祉情報論 II				
3: 地域の多様な人々と援助関係を構築する力	3-1: 多様性		介護過程の基本	介護過程 I 介護過程 II	介護過程 III 介護過程 IV	DP2: 【思考力・判断力・表現力等】 DP3: 【主体性・多様性・協調性】 DP4: 【地域貢献】
	3-2: 主体性		介護福祉実習 II	介護福祉実習 III		
4: 状態を的確に把握し介護予防、リハビリテーション、看取りまで対応する力	4-1: 多様性		高齢者福祉 I 高齢者福祉 II 障害者福祉 I 障害者福祉 II 人体の構造と機能及び疾病 I 人体の構造と機能及び疾病 II 認知症の理解 I	介護の基本 III 介護の基本 IV 介護の基本 V 介護の基本 VI 医療的ケア 医療的ケア(実技) 認知症の理解 II 生活支援技術 V	介護の基本 VI 介護福祉実習 IV 保健医療と福祉	DP2: 【思考力・判断力・表現力等】 DP3: 【主体性・多様性・協調性】 DP4: 【地域貢献】
	4-2: グローバルな視野		社会福祉の原理と政策 I 社会福祉の原理と政策 II ソーシャルワークの理論と方法 I 社会保障 I	社会福祉士特別セミナー I 社会福祉士特別セミナー II 社会福祉士特別セミナー III	社会福祉士特別セミナー IV 社会福祉士特別セミナー V	
5: 本人や家族多職種と協働する力	5-1: 広い視野、共用とEQを活かしたチームアプローチ実践		コミュニケーション技術 I 介護の基本 I 介護の基本 II	コミュニケーション技術 II チームマネジメント 家政学 I 家政学 II 家政学 III	介護福祉実習 V	DP3: 【主体性・多様性・協調性】 DP4: 【地域貢献】
		教養ゼミ	地域ゼミ I 地域ゼミ II	専門ゼミ I	専門ゼミ II	
介護福祉専攻のディプロマ・ポリシー		<p>DP1: 【知識及び技能】 地域社会が求める介護ニーズの多様化に対応し、本人や家族等のエンパワメントを重視した支援を提供することができる。</p> <p>DP2: 【思考力・判断力・表現力等】 地域の中で本人が望む生活を実現するために、尊厳と自立を支えるケア実践と介護過程を展開することができる。</p> <p>DP3: 【主体性・多様性・協調性】 多職種と協働しながら、介護予防からリハビリテーション、看取りまで、対象の状態の変化に対応することができる。</p> <p>DP4: 【地域貢献】 グローバルな視野をもって地域を見つめ、広く豊かな教養と高いEQを活かしたアクティブ・ラーナーとして、地域の持続的な発展に貢献できる。</p>				
		<p>—— 直接的な関連性 - - - - 間接的な関連性 ■ 必修科目 □ 総合科目(選択科目) □ 介護福祉専攻(選択科目) □ 社会福祉・介護福祉共通(選択科目) □ 関連系(選択科目)</p>				

2022年度入学生【生涯スポーツ専攻】

養成する力	細目	1年	2年	3年	4年	対応するディプロマ・ポリシー	
1: 個人や地域に内在する健康課題に対し状況を正確に理解できる力	1-1: 個人や地域社会における健康とその課題に関する知識					DP1: 【知識及び技能】 DP2: 【思考力・判断力・表現力等】	
2: 心身の状態に応じた適切な運動プログラムの作成、実践指導計画を保健医療関係者と連携しつつ進める力	2-1: 安全で効果的な運動PGの計画立案力 2-2: 関係他職種との連携を図るための多様な知識					DP2: 【思考力・判断力・表現力等】	
3: 医学的基礎知識、運動生理学・健康づくりのための運動指導の知識・技能を持ち健康づくりを目的として作成された運動プログラムに基づいて実践指導できる力	3-1: 医学的基礎知識に基づく運動指導の知識 3-2: 健康づくりを目指した運動プログラムの実践力					DP2: 【思考力・判断力・表現力等】 DP3: 【主体性・多様性・協調性】 DP4: 【地域貢献】	
生涯スポーツ専攻のディプロマ・ポリシー		DP1: 【知識及び技能】健康・スポーツ科学及び福祉分野の複合的な学びを通し、人々が健康で文化的な生活を営むための必要な知識と方法を習得・活用することができる DP2: 【思考力・判断力・表現力等】地域社会が抱える健康に関する諸課題を発見することができ、健康・スポーツ科学及び福祉分野といった広範に及ぶ領域から、課題解決に向けた適切な選択・判断を行うことができる。 DP3: 【主体性・多様性・協調性】スポーツを取り巻く「人」や「社会」の多様性について理解するとともに、関連する課題に対して主体的かつ協働的に解決へと導くことができる。 DP4: 【地域貢献】グローバルな視野をもって地域を見つめ、広く豊かな教養と高いEQを活かしたアクティブ・ラーナーとして、地域の持続的な発展に貢献できる。					
		直接的な関連性	間接的な関連性	必修科目	総合科目 (選択科目)	生涯スポーツ専攻 (選択科目)	関連系 (選択科目)

2022年度入学生【メディア情報専攻】

養成する力	細目	1年	2年	3年	4年	対応するディプロマ・ポリシー	
1： 社会場面における諸課題を的確に把握する力	1-1：ICTに関する知識	情報リテラシー 情報倫理とセキュリティ 言語情報学 情報とメディア 情報社会論	マルチメディア論 情報関係法	ITパスポート特論 情報社会と職業		DP1：【知識及び技能】 DP4：【地域貢献】	
	1-2：データサイエンスに関する知識		データサイエンス入門 福祉統計学	マーケティングリサーチ			
	1-3：福祉と情報に関する知識	福祉情報論Ⅰ 福祉情報論Ⅱ					
2： 情報科学技術により諸課題の解決のための方策を考える力	2-1：ICTの諸課題解決	コンピュータ概論 ITビジネス	データマイニング 先端科学技術の時事基礎講座Ⅰ 先端科学技術の時事基礎講座Ⅱ	アルゴリズム		DP1：【知識及び技能】 DP2：【思考力・判断力・表現力等】 DP3：【主体性・多様性・協調性】	
	2-2：データサイエンスの諸課題解決		データビジュアライゼーション	機械学習入門			
	2-3：福祉と情報の諸課題解決		CAD入門 CAD演習	福祉住環境コーディネーター			
3： 諸課題の解決に情報科学技術を用いた現実社会に実装する力	3-1：ICTの活用・実装		Python入門 Python演習 ソフトウェア演習	IoT活用と地域課題解決 プログラミング基礎 ネットワーク論 データベース論	プログラミング演習 情報システム論	DP2：【思考力・判断力・表現力等】 DP3：【主体性・多様性・協調性】 DP4：【地域貢献】	
	3-2：データサイエンスの活用・実装			地域学習と推薦システム AI・データサイエンス基礎 AI・データサイエンス実践			
	3-3：福祉の諸課題解決に対する情報の活用・実装		福祉情報インターフェース	福祉医療情報システム			
ゼミ系科目		教養ゼミ	地域ゼミⅠ 地域ゼミⅡ	専門ゼミⅠ	専門ゼミⅡ	DP2：【思考力・判断力・表現力等】	
メディア情報専攻のディプロマ・ポリシー		DP1：【知識及び技能】情報科学の学問内容及び分析手法や方法論を深く理解し、地域や社会、企業の抱える諸問題の解決に応用することができる。 DP2：【思考力・判断力・表現力等】情報科学を駆使し、そこから得られる様々な問題に対して分析手法や方法論を用いて分析・考察し、的確な判断を下し、結論を導くことができる。また、その結果を地域社会・産業の持続・発展のために寄与することができる。 DP3：【主体性・多様性・協調性】情報科学の技術などを最大限に活かして、あらゆる業務に積極的に取り組んでいくことができ、それら技術を社会生活に効果的な形で還元していくことができる。 DP4：【地域貢献】グローバルな視野をもって地域を見つめ、広く豊かな教養と高いEQを活かしたアクティブ・ラーナーとして、地域の持続的な発展に貢献できる。					
		————— 直接的な関連性	- - - - - 間接的な関連性	■ 必修科目	□ 総合科目 (選択科目)	□ メディア情報専攻 (選択科目)	□ 関連系 (選択科目)

2022年度入学生【心理学専攻】

養成する力	細目	1年	2年	3年	4年	対応するディプロマ・ポリシー	
1： 社会・文化的文脈において人間行動に関わる諸問題を発見・定義する力	1-1：領域横断的な視点					DP1：【知識及び技能】 DP2：【思考力・判断力・表現力等】 DP3：【主体性・多様性・協調性】 DP4：【地域貢献】	
	1-2：領域に固有の知識						
2： 問題解決に必要なデータを適切に収集し分析を通じて解を導き出す力	2-1：研究を計画する力					DP1：【知識及び技能】 DP2：【思考力・判断力・表現力等】 DP3：【主体性・多様性・協調性】 DP4：【地域貢献】	
	2-2：データ解析力						
3： 研究の遂行を通じて明らかにした事実と法則を的確に表現し、他者に伝える力							DP1：【知識及び技能】 DP2：【思考力・判断力・表現力等】 DP3：【主体性・多様性・協調性】 DP4：【地域貢献】
心理学専攻のディプロマ・ポリシー		DP1：【知識及び技能】人間の行動メカニズムや認知的特性について基礎的な知識を有しており、必要に応じて問題設定を行い、それを解決するに足る研究基礎能力（情報収集、データ解析、資料化）を身に付けている。 DP2：【思考力・判断力・表現力等】仮説演繹的な思考力を備え、問題解決の過程を科学論文としてまとめることができる。また、それらを口演等の手段で的確にプレゼンテーションする技術を備えている。 DP3：【主体性・多様性・協調性】実社会の中で、自ら問題を発見・定義し、その解決に向けて主体的に行動を起こすことができる。また、その過程において、多様な文化・社会的基盤を持つ他者と適切に協働することができる。 DP4：【地域貢献】グローバルな視野をもって地域を見つめ、広く豊かな教養と高いEQを活かしたアクティブ・ラーナーとして、地域の持続的な発展に貢献できる。					
————— 直接的な関連性 - - - - - 間接的な関連性							